

第三次下野市総合計画策定に係る

各種基礎調査結果について

— 目 次 —

1. 市民意識調査の概要.....	1
2. 中学生アンケート調査の概要	9
3. 高校生アンケート調査の概要	12
4. まちづくり中学生ワークショップの概要	15
5. まちづくり意見の概要.....	19
6. まちづくりに関するアンケート (二十歳のみなさま向け) 調査の概要	20

令和 7 年 1 月

1. 市民意識調査の概要

実施概要

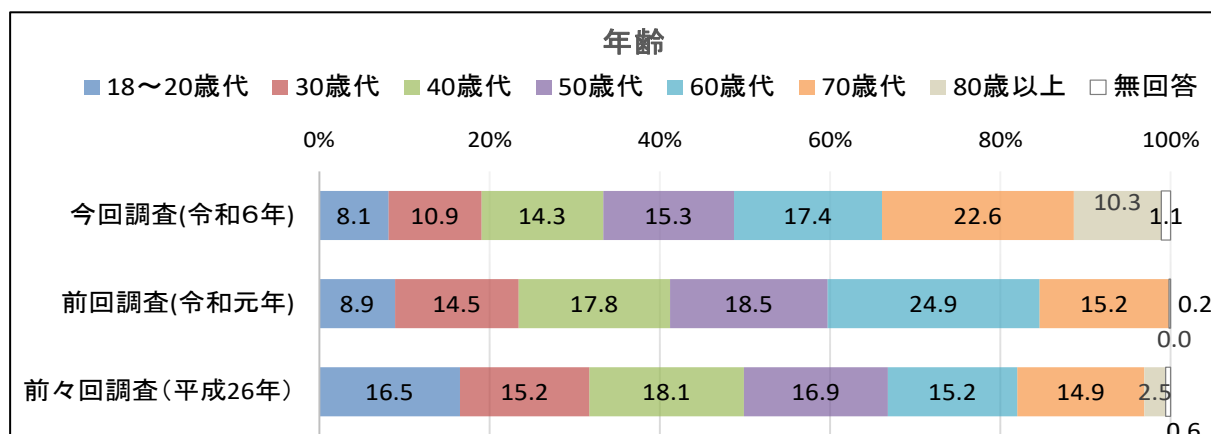
調査対象 下野市在住の市民 3,000 名を無作為抽出
調査方法 郵送配布・回収（Web フォームでの回答併用）
実施時期 令和 6 年 8 月 13 日～ 8 月 30 日
回収結果 1,082 票（回収率：36.1%）

● 調査結果概要

今回の市民意識調査では、「下野市の住みやすさ」や「施策に関する満足度と重要度」など全 18 問の調査を実施しました。

主な設問に対する結果の概要については、以下のとおりです。

（0）属性（回答者の年代）



年代別回答割合

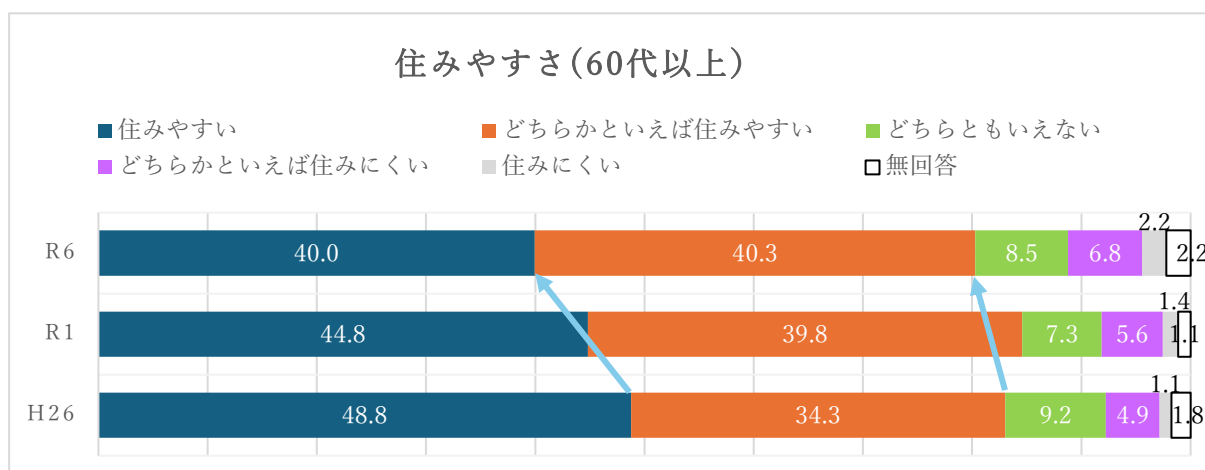
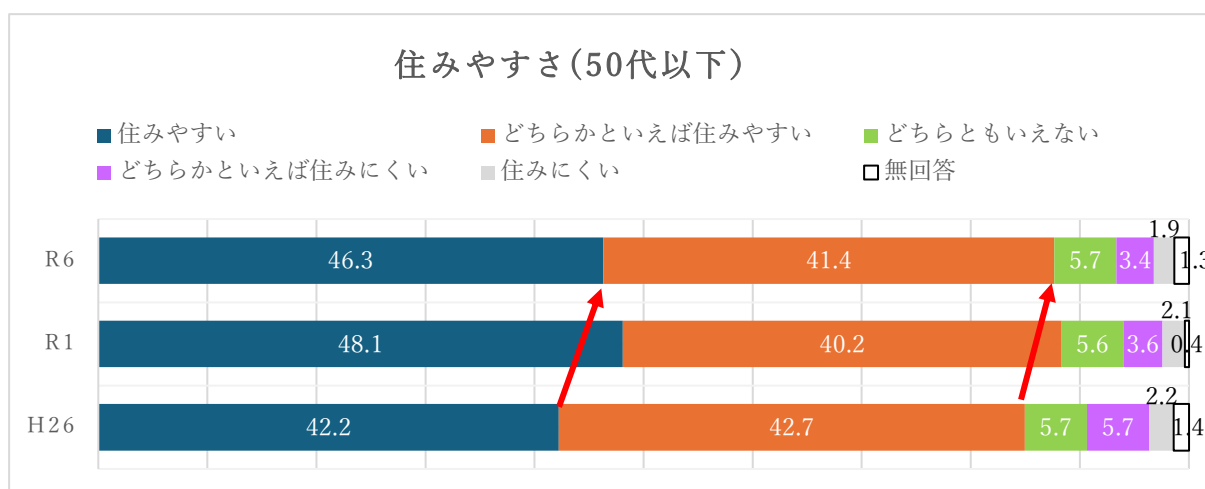
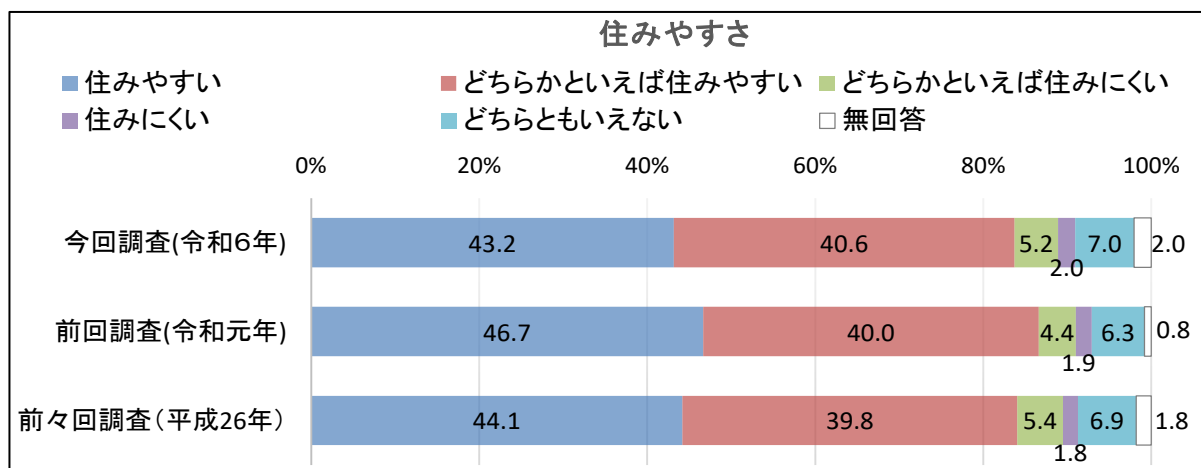
	送付数		回答数		回答率
		割合		割合	
18～20 代	431	14.4%	88	8.1%	20.4%
30 代	383	12.8%	118	10.9%	30.8%
40 代	447	14.9%	155	14.3%	34.7%
50 代	506	16.9%	166	15.3%	32.8%
60 代	461	15.4%	188	17.4%	40.8%
70 代	474	15.8%	244	22.6%	51.5%
80 代以上	298	9.9%	111	10.3%	37.2%
無回答			12		
計	3000		1082		36.1%

（１）住みやすさ

下野市の住みやすさについて、「住みやすい（43.2%）」、「どちらかといえば住みやすい（40.6%）」を合わせて 83.8%（前回調査 86.7%、前々回調査 83.9%）の方が肯定的に捉えていました。

本市の住みやすさについては、2024 年に行われた全国的なランキング調査でも県内 1 位、北関東 2 位の高評価を受けており、市民の感覚とも大きなズレはないと考えています。

ただし、年代別で見ると、50 代以降は評価が上がっている一方、60 代以上は住みやすいとの回答が低下していました。



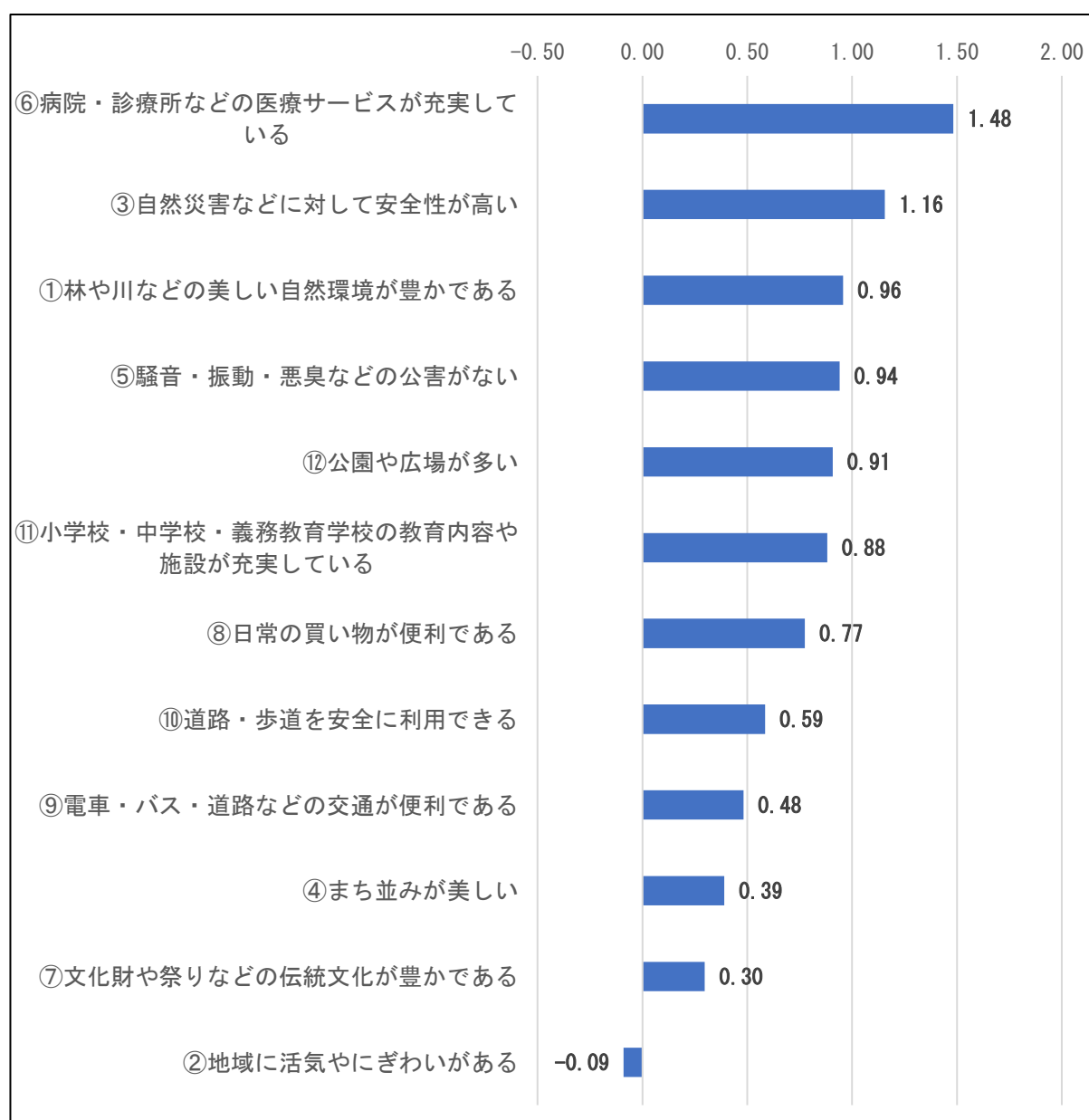
（２）現在の下野市の評価

◇生活環境評価

下野市に関して「医療サービスが充実している」「自然環境が豊かである」など 12 の項目について、「そう思う」「少し思う」「あまり思わない」「まったく思わない」の 4 段階で尋ねた質問について、加重平均値の算出により上位となった項目を見ると、「病院・診療所などの医療サービスが充実している（1.48）」が最も高く、次いで「自然災害などに対して安全性が高い（1.16）」となりました。

医療サービスについては、自治医大を中心とする医療施設の充実が評価されたと受け止めています。自然災害への安全性については、国内各地で頻発・激甚化する自然災害の報道等に接する中で、本市の安全性が改めて評価されたと考えています。

【加重平均値】



加重平均値：「そう思う」× 2 + 「少し思う」× 1 - 「あまり思わない」× 1 - 「まったく思わない」× 2 ÷ （無回答を除く回答者数）

◇市の取組に対する満足度・重要度

第二次総合計画後期基本計画施策の満足度・重要度をについて、「満足／重要」「やや満足／やや重要」「普通」「やや不満／あまり重要でない」「不満／重要でない」の5段階で尋ねた質問について、加重平均値の算出により上位となった項目を見ると、満足度では「医療体制(0.94)」が最も高く、次いで「上水道の整備(0.64)」、「下水道の整備(0.64)」となりました。重要度でも「医療体制(1.60)」が最も高く、次いで「防犯(1.45)」となりました。

医療体制については前述の通りで、上下水道やごみ処理については生活基盤としてのインフラが整っている点を評価していただいたと受け止めています。

一方で、観光振興や公共交通の整備については満足度が低く、引き続き本市の課題であると考えています。

【加重平均算出値】

順位	(満足度) 上位	順位	(重要度) 上位
1	医療体制 0.94	1	医療体制 1.60
2	上水道の整備 0.64	2	防犯 1.45
3	下水道の整備 0.64	3	ごみ処理・リサイクル 1.39
4	ごみ処理・リサイクル 0.60	4	子ども・子育て支援 1.38
5	健康づくりへの取組 0.53	5	消防・防災 1.37

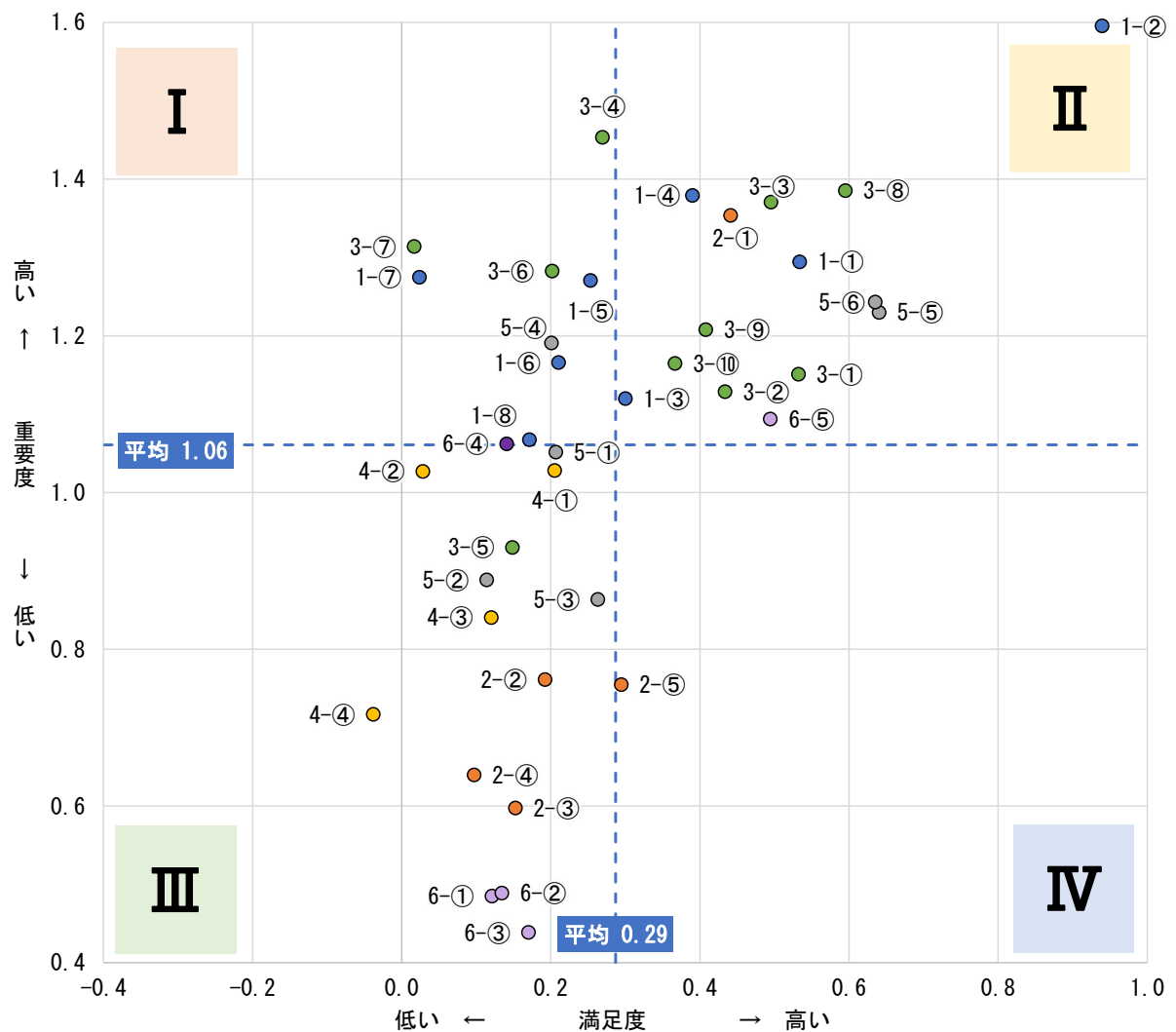
※満足度 上位5位	前回	「医療体制」「上水道の整備」「下水道の整備」「消防・防災」「公園・緑地の整備」
	前々回	「上水道の整備」「医療体制」「下水道の整備」「消防・防災」「ごみ処理・リサイクル」
※重要度 上位5位	前回	「防犯」「消防・防災」「医療体制」「保険・年金」「高齢者福祉」
	前々回	「防犯」「消防・防災」「医療体制」「高齢者福祉」「交通安全」「ごみ処理・リサイクル」

順位	(満足度) 下位	順位	(重要度) 下位
1	観光の振興 -0.04	1	国内交流・国際交流 0.44
2	公共交通の整備 0.02	2	まちづくりに参加する機会 0.48
2	保険・年金 0.02	3	男女共同参画の取組 0.49
4	商業の振興 0.03	4	スポーツ・レクリエーションの機会 0.60
5	文化・芸術活動の促進 0.10	5	文化・芸術活動の促進 0.64

<加重平均の算出方法>

加重平均【満足度】：「満足」×2＋「やや満足」×1－「やや不満」×1－「不満」×2÷（無回答を除く回答者数）
 加重平均【重要度】：「重要」×2＋「やや重要」×1－「あまり重要でない」×1－「重要でない」×2÷（無回答を除く回答者数）

【満足度×重要度散布図】



- 1-①. 健康づくりへの取組
- 1-④. 子ども・子育て支援
- 1-⑦. 保険・年金
- 2-②. 生涯学習を行う機会
- 2-⑤. 文化遺産の保存と活用
- 3-③. 消防・防災
- 3-⑥. 交通安全対策
- 3-⑨. 環境対策
- 4-②. 商業の振興
- 5-①. 市街地整備
- 5-④. 道路整備
- 6-①. まちづくり活動に参加する機会
- 6-④. 市の財政運営

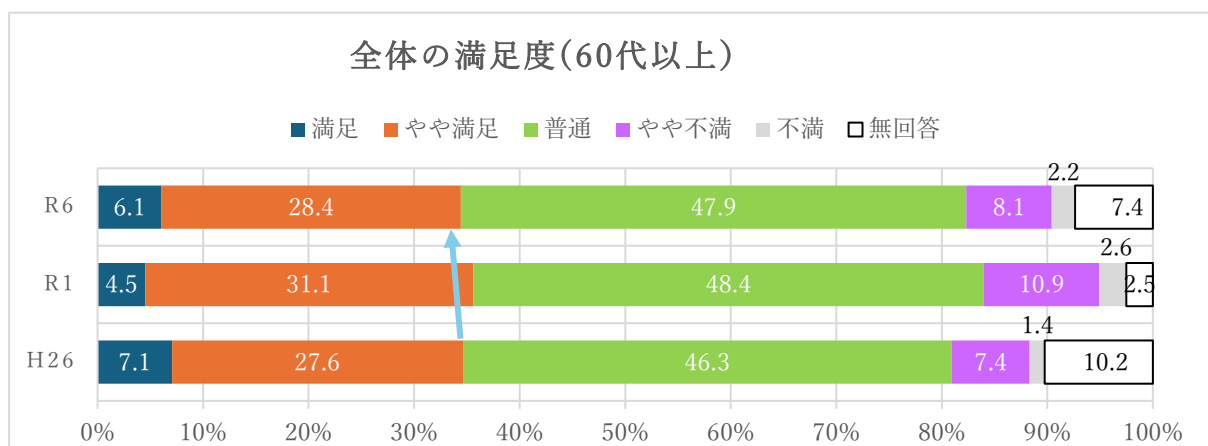
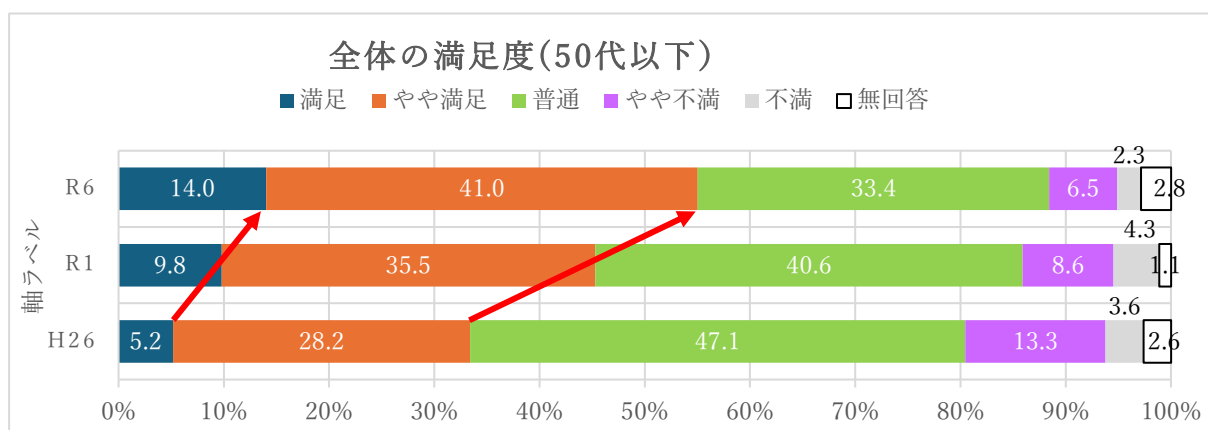
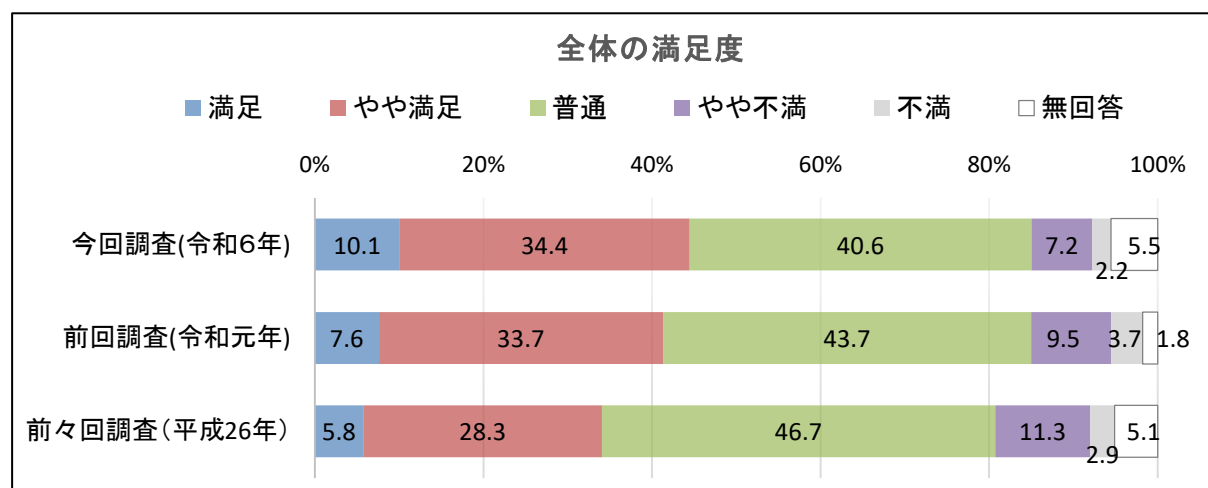
- 1-②. 医療体制
- 1-⑤. 高齢者福祉
- 1-⑧. 地域福祉
- 2-③. スポーツ・レクリエーションの機会
- 3-①. 公園・緑地の整備
- 3-④. 防犯
- 3-⑦. 公共交通の整備
- 3-⑩. 公害対策
- 4-③. 工業の振興
- 5-②. 土地利用における秩序の確保
- 5-⑤. 上水道の整備
- 6-②. 男女共同参画の取組
- 6-⑤. 市役所の窓口サービス

- 1-③. 健康づくり施設の充実
- 1-⑥. 障がい者福祉
- 2-①. 小中学校の教育
- 2-④. 文化・芸術活動の促進
- 3-②. 自然環境の保全
- 3-⑤. 消費者保護の取組
- 3-⑧. ごみ処理・リサイクル
- 4-①. 農業の振興
- 4-④. 観光の振興
- 5-③. まちなみ景観
- 5-⑥. 下水道の整備
- 6-③. 国内交流・国際交流

◇下野市のまちづくり全体への満足度

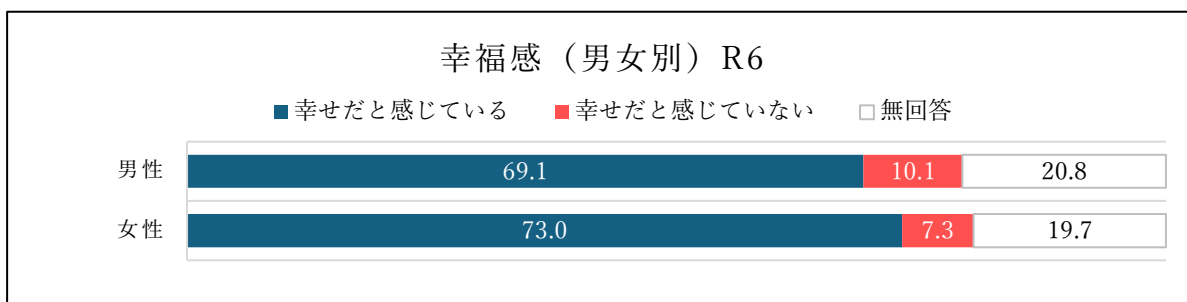
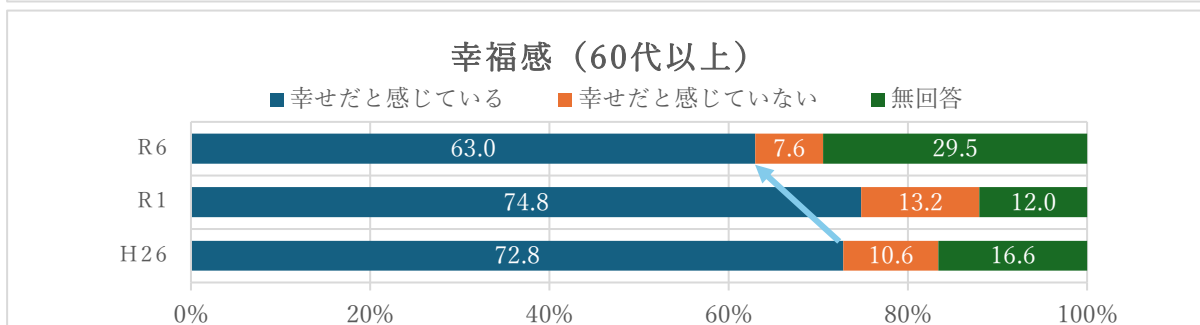
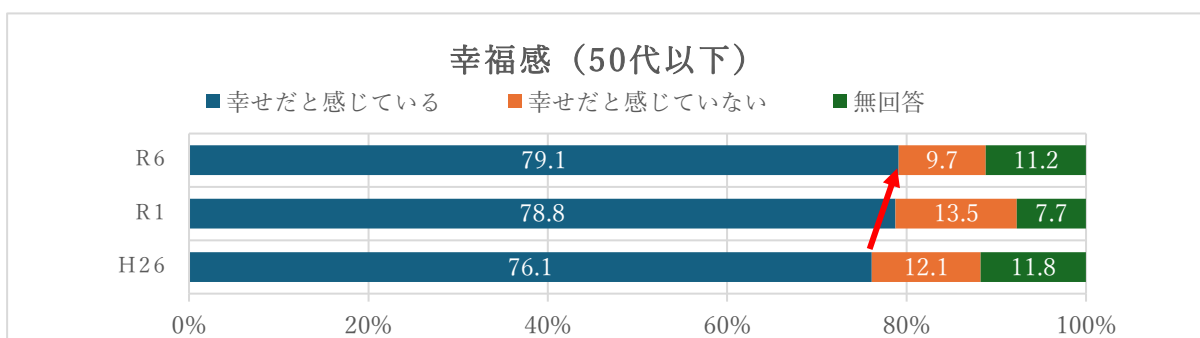
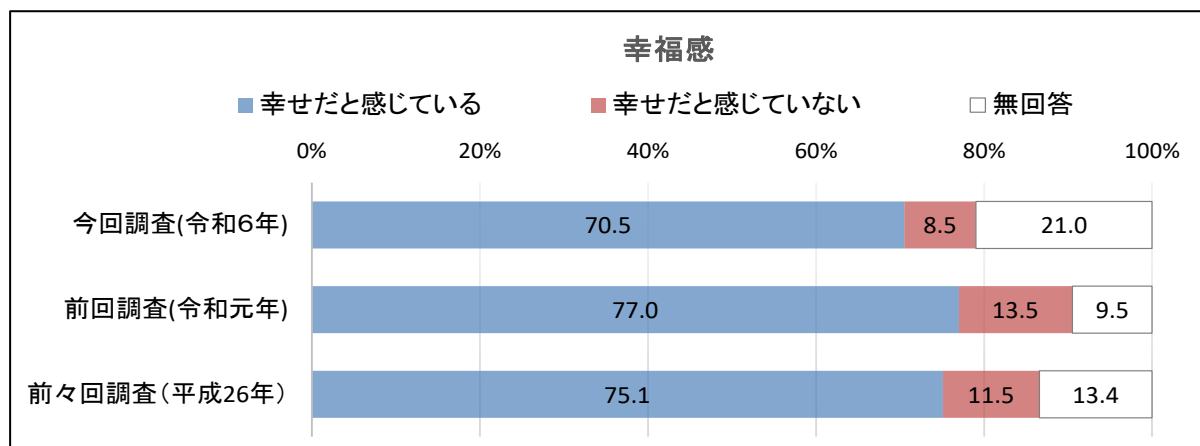
下野市のまちづくり全体への満足度を尋ねる設問では、「普通」が40.6%で最も高く、次いで「やや満足」が34.4%となっており、前々回調査から経年的にみると「満足」と「やや満足」を合わせた割合は増加しました。また、年代別でみると、50代以下は「満足」「やや満足」を合わせた割合が5割を超え、前回、前々回より増えている一方、60代以上ではやや減少し34.5%にとどまっています。

全体の満足度が向上した点については、第二次総合計画の取組に一定の評価をしていただけたものと考えています。



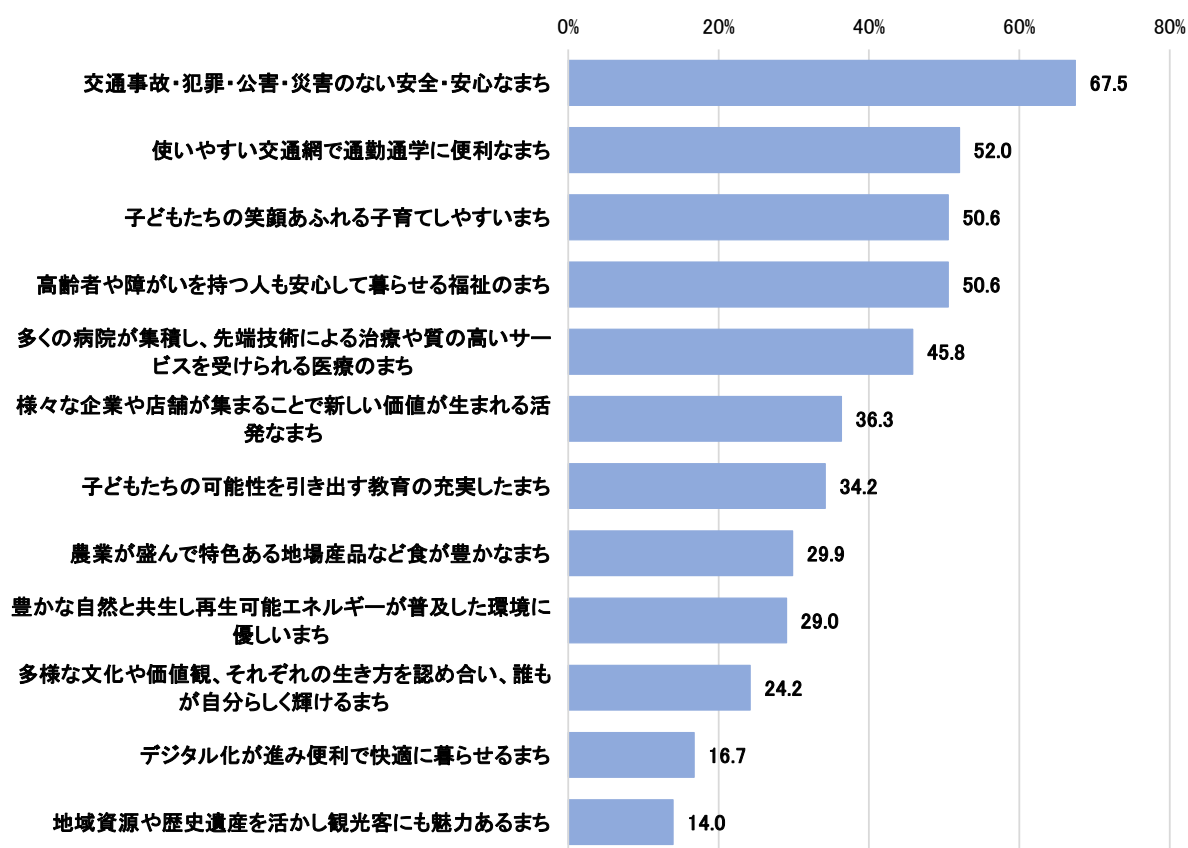
(3) 幸福感

下野市で生活していて幸せだと感じているかどうかについて、「幸せだと感じている」が70.5%で最も高い一方、「無回答」も21.0%でした。また、年代別でみると、50代以下で「幸せだと感じている」方は8割近い一方、60代以上で「幸せだと感じている」方は63%に低下し、「無回答」の割合が高くなっていました。



(4) 下野市の将来像

10年後の下野市の将来像としてどれが良いか、複数回答で尋ねたところ、「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち」が最も高く、ついで「通勤通学に便利なまち」「子育てしやすいまち」「誰もが安心して暮らせる福祉のまち」となりました。



2. 中学生アンケート調査の概要

● 実施概要

調査対象	下野市に通学する中学生2年生・義務教育学校8年生
調査方法	Web フォームでの回答
実 施	令和6年7月
回 答 数	461 サンプル

● 調査結果概要

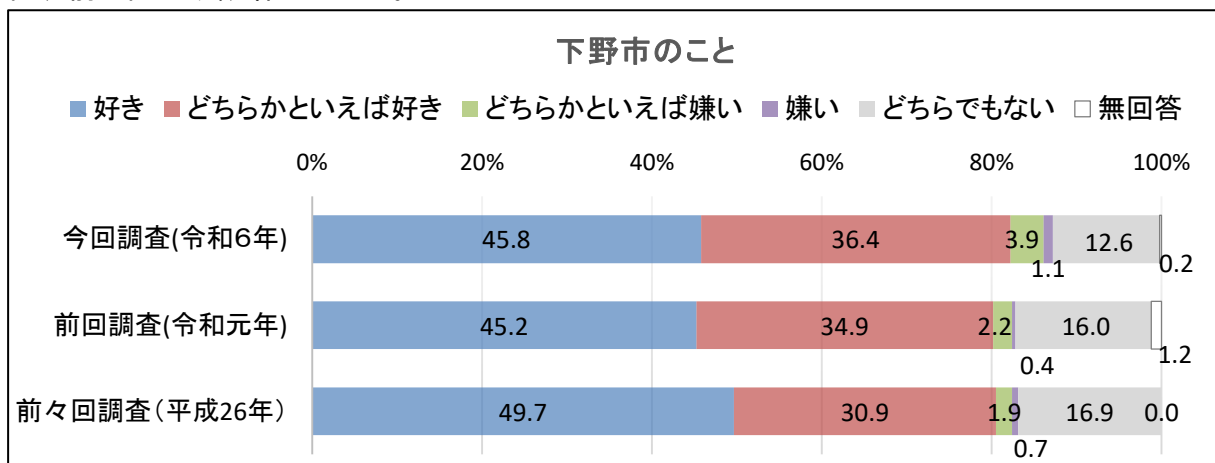
今回の中学2年生相当生徒対象調査では、「下野市の住みやすさ」や「将来の居住意向」など全11問の調査を実施しました。

下野市の好感度や住みやすさ、将来の居住意向のいずれについても、5年前、10年前と比較して肯定的な回答が微増しました。

主な設問に対する結果の概要については、以下のとおりです。

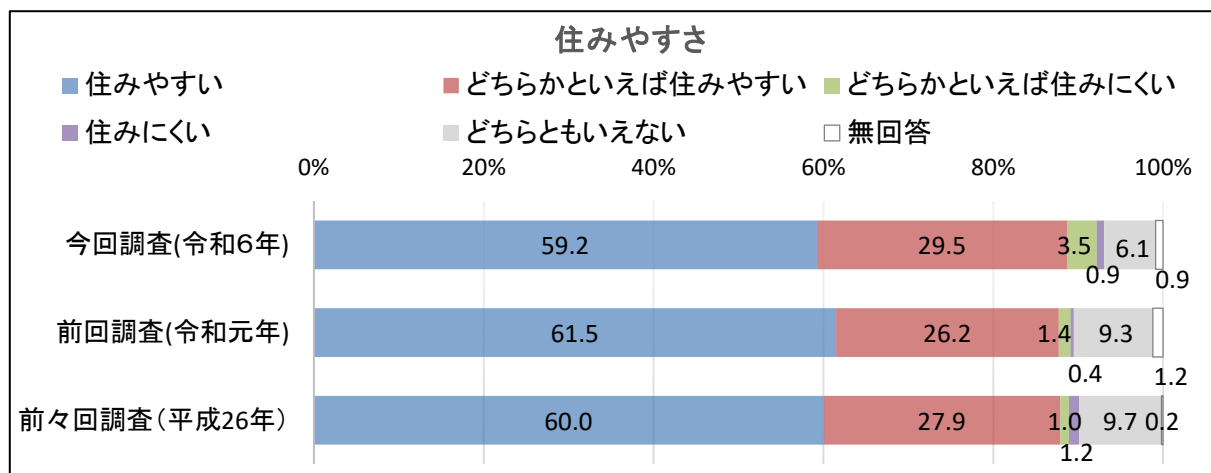
（1）下野市への好感度

下野市が好きかどうかについて、「好き（45.8%）」、「どちらかといえば好き（36.4%）」合わせて82.2%（前回調査80.1%、前々回調査80.6%）となり、両者を合わせた割合は前回、前々回より微増しました。



(2) 住みやすさ

下野市の住みやすさについて、「住みやすい (59.2%)」、「どちらかといえば住みやすい (29.5%)」合わせて 88.7% (前回調査 87.7%、前々回調査 87.9%) となりました。前回、前々回とほぼ変わらず、高い評価となっています。

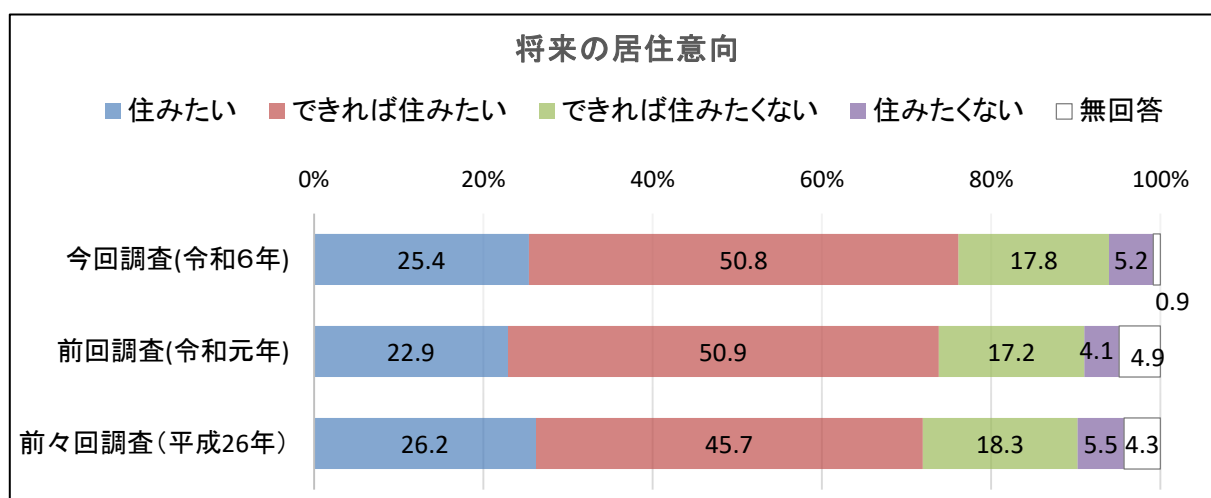


(3) 将来の居留意向

将来下野市に住みたいと思うかどうかについて、「住みたい (25.4%)」、「できれば住みたい (50.8%)」合わせて 76.2% (前回調査 73.8%、前々回調査 71.9%) となりました。

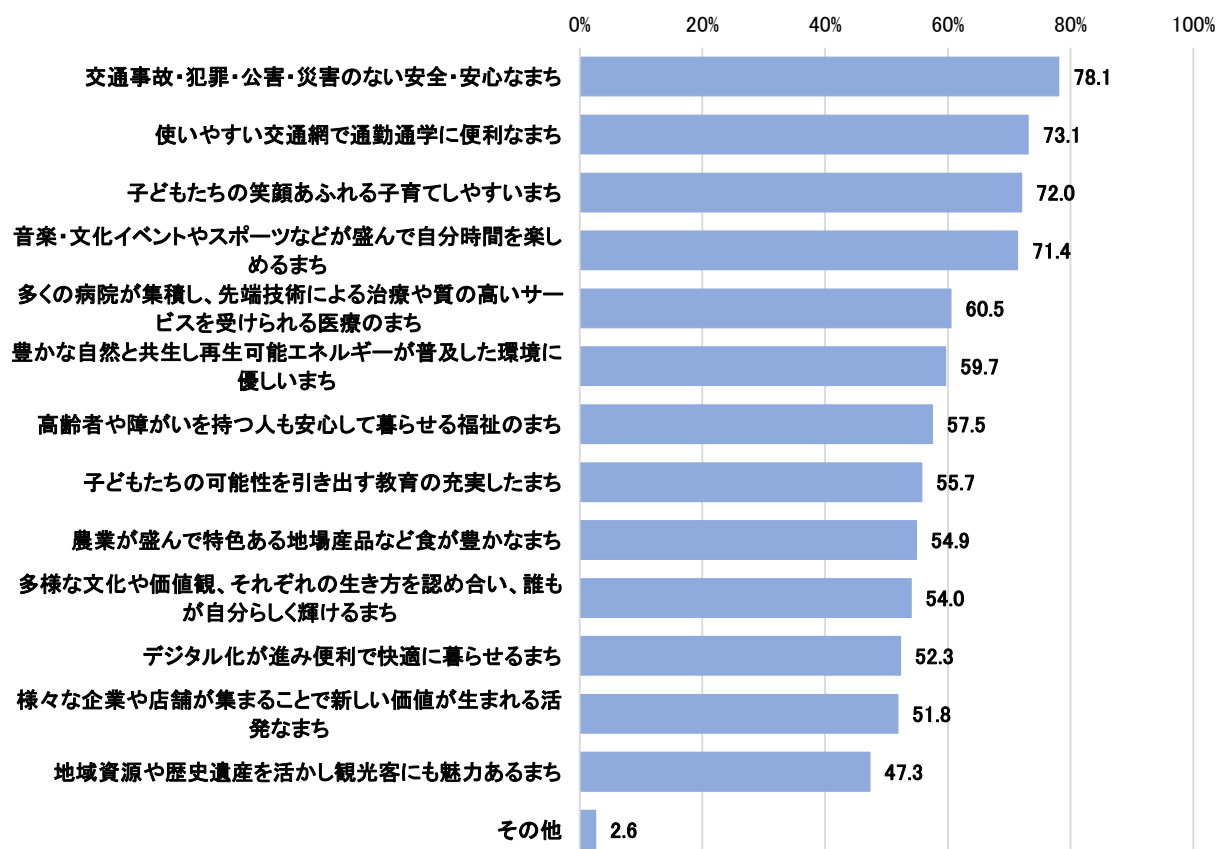
住みたいと思う理由としては、「下野市は暮らしやすいから (53.3%)」、「下野市とその周辺に住み慣れているから (40.2%)」などとなっています。

住みたくない理由としては、「都会に住みたいから (47.2%)」、「市外の方が買い物したい店や遊ぶ場所が多いから (39.6%)」などとなっています。



(4) 下野市の将来像

10年後の下野市の将来像としてどれが良いか、複数回答で尋ねたところ、「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち」が最も高く、ついで「通勤通学に便利なまち」「子育てしやすいまち」「自分時間を楽しめるまち」となりました。



3. 高校生アンケート調査の概要

● 実施概要

	今 回	前 回	前々回
調査対象	石橋高校 2 学年生徒	高校 2 年生に相当する市民	小山北桜高校・石橋高校生徒
調査方法	Web フォームでの回答	郵送配布・回収	学校配布・回収
実 施	令和 6 年 7 月	令和元年 7 ～ 8 月	平成 26 年 7 月
回 答 数	191 サンプル	154 サンプル	408 サンプル

● 調査結果概要

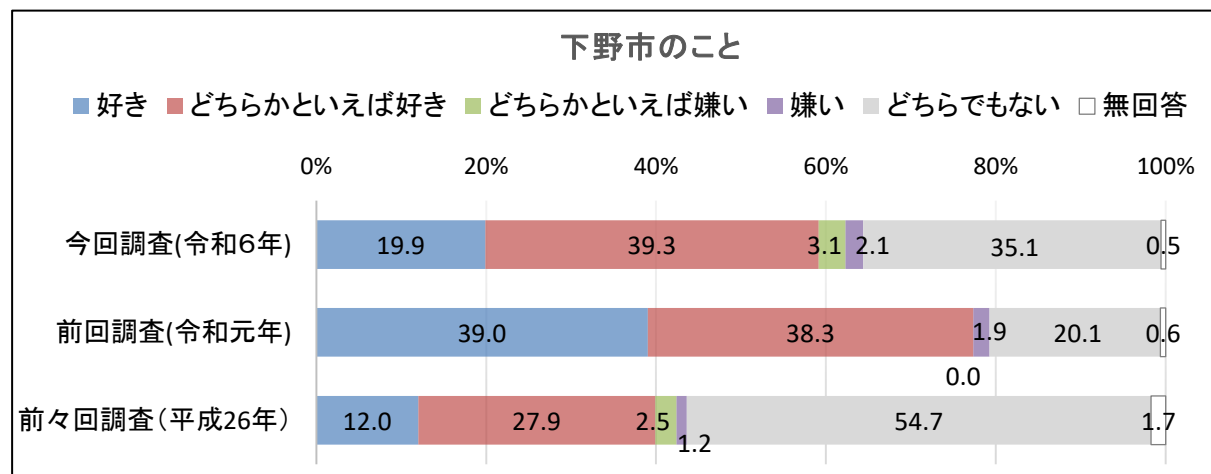
今回の高校生対象調査では、「下野市の住みやすさ」や「将来の居留意向」など全 11 問の調査を実施しました。

石橋高校 2 年生を対象としたため、市内在住者は 15.7%、市外在住者が 84.3%でしたが、下野市の好感度や住みやすさ、将来の居留意向のいずれについても、10 年前と比べると肯定的な回答が増えました。

主な設問に対する結果の概要については、以下のとおりです。

(1) 下野市への好感度

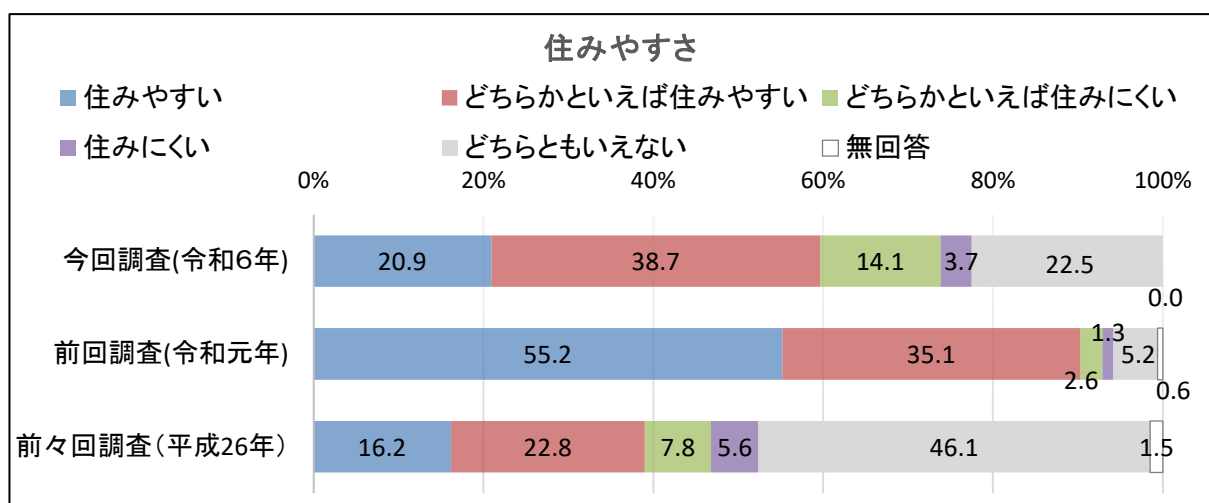
下野市が好きかどうかについて、「どちらかといえば好き」が 39.3%で最も高く、次いで「どちらでもない」(35.1%)となっています。前々回調査と比較すると「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は増加しました。



※今回（石橋高校）、前々回（石橋高校・小山北桜高校）と前回（市内在住の高校 2 年生相当者）では調査対象が異なるため、グラフを比較する際はご注意ください。

（２）住みやすさ

下野市の住みやすさについて、「住みやすい（20.9%）」、「どちらかといえば住みやすい（38.7%）」で、合わせて 59.6%（前々回調査 39.0%）の生徒が肯定的に捉えていました。

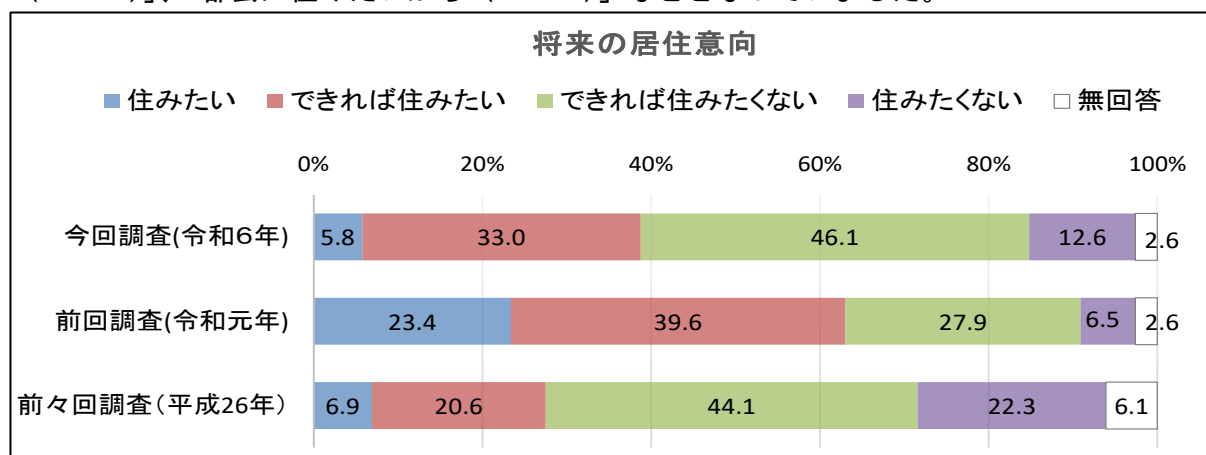


（３）将来の居留意向

将来下野市に住みたいと思うかどうかについて、「住みたい（5.8%）」「できれば住みたい（33.0%）」合わせて 38.8%（前々回調査 27.5%）でした。

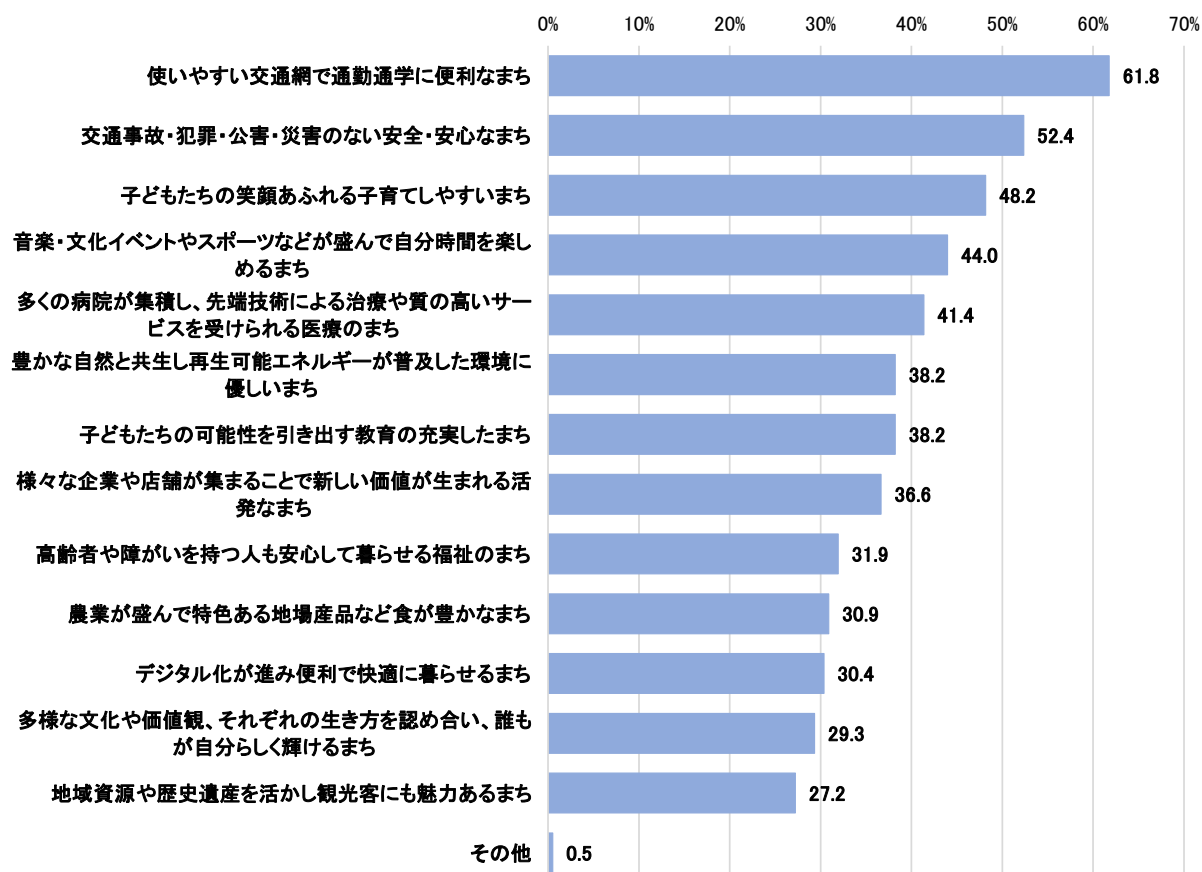
住みたいと思う理由としては、「下野市は暮らしやすいから（50.0%）」、「下野市が好きだから（28.4%）」、「下野市とその周辺に住み慣れているから（28.4%）」などとなっていました。

住みたくない理由としては、「市外の方が買い物したい店や遊ぶ場所が多いから（43.8%）」、「都会に住みたいから（42.9%）」などとなっていました。



(4) 下野市の将来像

10年後の下野市の将来像としてどれが良いか、複数回答で尋ねたところ、「通勤通学に便利なまち」が最も高く、ついで「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち」「子育てしやすいまち」「自分時間を楽しめるまち」となりました。



4. まちづくり中学生ワークショップの概要

下野市の将来を担う中学2年生（義務教育学校8年生）の皆さんに、下野市の未来のまちづくりに対する思いや夢について話していただき、第三次総合計画づくりに活かしていくための「ワークショップ」を開催しました。

【開催概要】

○開催経過

回	開催日	テーマ
第1回	令和6年11月3日（日）	『令和版 まちの「お宝」さがし！』 ☆ まちのおすすめスポット、まちの自慢などを出し合おう ☆ よりよいまちとなっていくためのアイデアなども考えてみよう
第2回	令和6年11月23日（土）	『未来のまちはどんなまち？』 ☆ 10年後のまち（下野市）がどうなったらいいのか考え、「ことば」に表してみよう
第3回	令和6年12月7日（土）	『意見・提案をまとめよう』 ☆ これまでの話し合いをふりかえって、アイデアをまとめよう
第4回	令和6年12月14日（土）	『発表と意見交換』 ☆ 最後に意見・提案内容を確認し、みなさんに発表しよう

○参加者：石橋中学校、国分寺中学校、南河内小中学校、南河内第二中学校に在学する全38名（4回計のべ73名）



【A グループ】

＜大事にしたい分野＞

【賑わい】 みんなが楽しめる 自然を活かした開発 下野市ならではの魅力	【学校】 未来をつくるのは こどもたち	【安全・安心】 医療（自治医大） 治安がいい 災害が少ない
---	----------------------------------	---

将来のまちのすがた

We're Happy Everyday
 ～元々の魅力を活かし新しい魅力をつくる
 進化し続けるまち～

◆私たちの取組◆

	賑わい	学校	安全・安心
学校や地域	▶駅の近くにステージなどをつくる ▶他県に行った時に下野市のよさをPRする ▶小・中学生にイベントのポスターを夏休みの課題で描いてもらう⇒市内のお店で使える券を賞にする ▶駅に地域の人達が集まれる場所をつくる	▶他校の行事（文化祭や体育祭）に行く機会があると、他校について知る事ができる ▶ほかの学校と下野市のよさを出し合う授業を行って交流を深める ▶学校同士でのドッチボール大会など楽しく交流できる場をつくる	▶学校で災害について学び、自分達のまちが災害が少ないということを知る ▶医療・治安・災害に強いことを示すポスターコンクールを実施する ▶AED講習など、学校の授業で医療の知識を深め、「もしも」に備える
家族や友達	▶イベント・PRを家族や友達に協力してもらい色々な人に広めて参加者を増やす（ポスターを作成するなど）	▶自分の学校について他校の知り合い（部活での知り合いなど）に話す	▶〈治安〉横断歩道の交通指導員さんを朝だけではなく、夕方にもやってもらいたい。冬の5時は危ない！
自分自身	▶自分自身がイベントに積極的に参加することで、参加者が多くなり、次回さらにイベントが発展するかもしれない ▶他県に行ったときにそこで知り合った人に下野市のよさをPRする	▶小中合同クリーン活動で、小中学生での活動・交流を積極的に行う ▶ワークショップで出た意見を友達に紹介して広めてもらう ▶部活で他校と合同練習をして、練習内容を教える	▶自分のけがや病気を紹介して、どんな治療をしてもらったかをポスターにする ▶治安をよくするために公園などをつかったらよかったときよりもきれいにする

【Bグループ】

＜大事にしたい分野＞



将来のまちのすがた

自然と暮らしすべての人が楽しかったと
言える住みやすい町

◆私たちの取組◆

	自然	買い物	住みやすさ
学校や地域	▶フィールドアスレチック場などの企画 ▶田植体験などの企画	▶地域でおまつり（企画） ▶自治医大駅周辺の活性化	▶クリーン活動（石橋中） ▶学校と地域で協力→ゴミ拾い ▶地域でクリーン活動の呼びかけをして、参加してくれたら、下野市でしか使えない商品券などのものをあげる ▶清掃する日を地域ごとに作る
自分自身	▶田植をしたい（参加）	▶市内で買物する	▶ゴミはしっかり持ち帰る意識をつける



【C グループ】

＜大事にしたい分野＞

【店舗】	【公共施設】	【行事】
------	--------	------

将来のまちのすがた

市外から来たいと思える豊かな自然と
特色のある便利なまち

◆私たちの取組◆

	店舗	特産品	公共施設	行事
学校や 地域	▶学校とかでどんな店舗がいいか生徒に聞く	▶地域の人達で特産品をつくる	▶募金活動をする。そのお金で大型施設を建てる ▶学校、地域の人などでその施設の良さを伝える（PRポイントをまとめた紙など）	▶行事についてのポスターを市内・市外にはる ▶ゴミ箱の設置を増やしたり管理する ▶地域の人や学校などが協力して学校などを開催の場とした行事を行う
家族や 友達		▶かんぴょうを使った新しい料理をつくる	▶募金の呼びかけ	▶行事についてのポスターを作る ▶ボランティアなどで、ゴミ箱の管理をする
自分 自身	▶思ったことをすぐに提案する→受け取る場所も必要		▶利用して感想を店に反映してもらう	▶行事についてのポスターを作る



5. まちづくり意見募集

募集期間	令和6年12月27日～令和7年1月30日
提出方法	郵送、fax、メール、窓口、しもつけオンラインサービス
提出件数	2件

◆いただいたご意見◆

1	今後のまちづくりについて まちづくりにもストーリーが必要だと思います。 下野市は自然災害も少なく静かでのんびり暮らせ交通の利便性も高い町だと思います。そして、国宝に指定される遺跡と歴史のある町です。さらに、先進的な医療のまちで、かんぴょう生産日本一という事実があります。それらから、暮らし優先でまちづくりを考え、税金の使い方として大型商業施設や大型のホールや公会堂のような公共施設や、花火大会や盆踊りなどの大きなイベントは近隣の大都市にお任せすべきです。また、歳出削減を強化し公共建築物は極力少なく必要最小限にして利用価値の低いものは早急に処分すべきです。近隣自治体と協力して遺跡を利用したイベント開催や、遺跡散歩コースと先進的な医療を活用した健康的な街づくりが可能となります。よって宇都宮市や日光市などには出来ない下野市ならではの町の特色をアピールするのが良いと考えます。 つまり、遺跡と先進医療と静かな住宅地を前面に出し、行政 DX と生成 AI で効率化し行政サービスを充実させ、自主自律の精神を養い子供たちばかりでなく高齢者もリスクリングでお金を稼ぐ力を身に付けられる様なまちづくりに取り組んでいただきたいです。
2	数年前に県外から下野市に移住してきました。下野市は子育て支援が充実していたり、公園など公共施設が豊富でとても住みやすいです。今後より住みやすい街になればいいなと思います。 1. 石橋駅周辺の活性化 石橋駅の周りは空き家や老朽化した建物が多く、廃れているように感じてしまう。石橋高校に通う生徒の方も電車をよく利用すると思うのでそのような若い層をターゲットにしてまちづくりをしてほしい。例えば次の電車が来るまでの待ち時間に時間を過ごせるようなカフェや本屋さんなどがあるといいと思う。 2. 商業施設を作る。下野市は宇都宮市や小山市と隣接しているため買い物に不便を感じないが、大きな商業施設があると便利になると思う。 3. 石橋全体をもっとグリムの要素を取り入れたまちにする グリムっぽい建物やグリム童話にちなんだお店（例えば、お菓子の家という名前の洋菓子屋さんなど）をもっと増やすといいと思う。 今後もっと下野市が発展すればと思います。

6. まちづくりアンケート(二十歳のみなさま向け)調査の概要

● 実施概要

調査対象	令和7年下野市二十歳のつどい参加者
調査方法	しもつけオンラインサービスでの回答
実施	令和7年1月
回答数	17件

● 調査結果概要

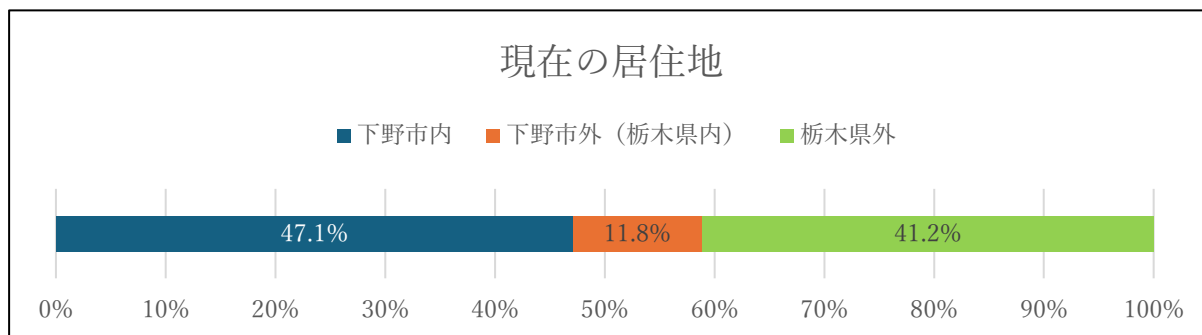
令和7年1月12日に開催された『二十歳のつどい』参加者に対してチラシを配布し、アンケートへの回答を呼びかけました。「下野市の住みやすさ」や「将来の居住意向」など全10問の調査を実施しました。

回答数は少ないですが、下野市の好感度や住みやすさ、将来の居住意向のいずれについても、肯定的な回答が多数を占めました。

主な設問に対する結果の概要については、以下のとおりです。

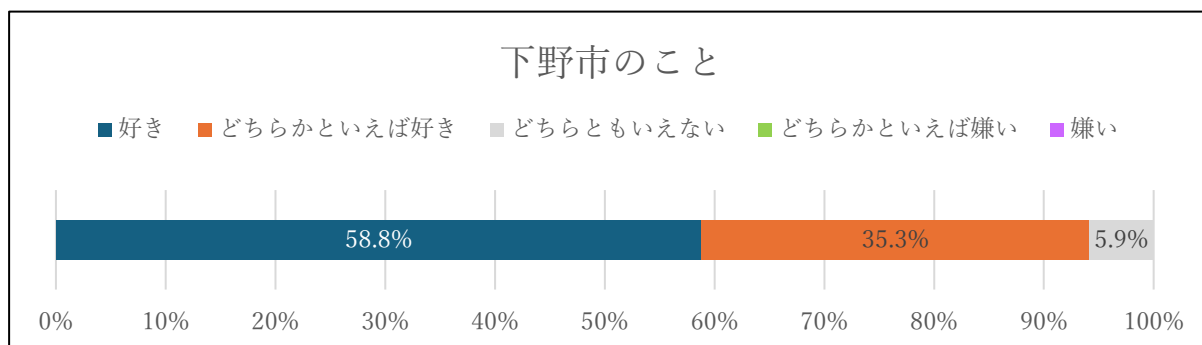
(0) 属性

回答者17名のうち、市内に住んでいるのは約半数で、4割が県外に居住していました。



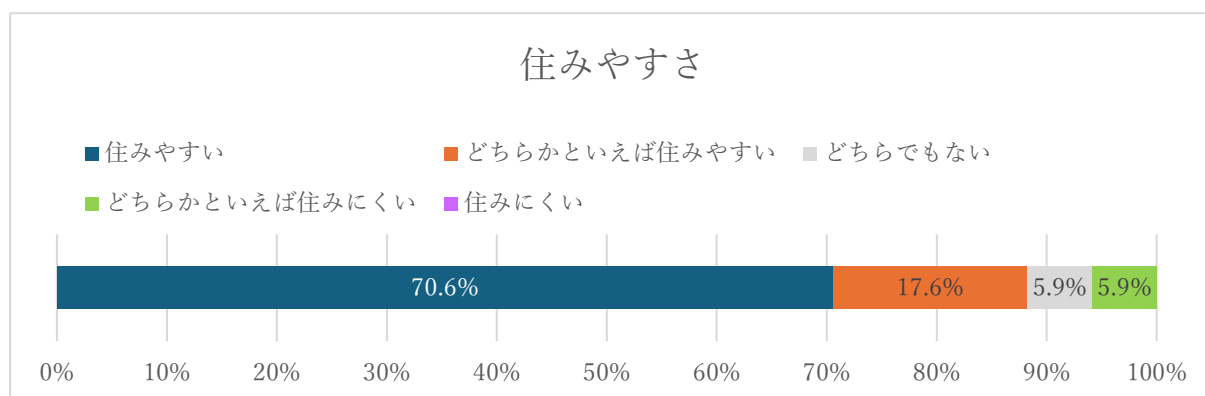
(1) 下野市への好感度

下野市が好きかどうかについて、「好き（58.8%）」、「どちらかといえば好き（35.3%）」合わせて94.1%と非常に高い割合でした。



(2) 住みやすさ

下野市の住みやすさについて、「住みやすい (70.6%)」、「どちらかといえば住みやすい (17.6%)」で、合わせて 88.2%の方が肯定的に捉えていました。

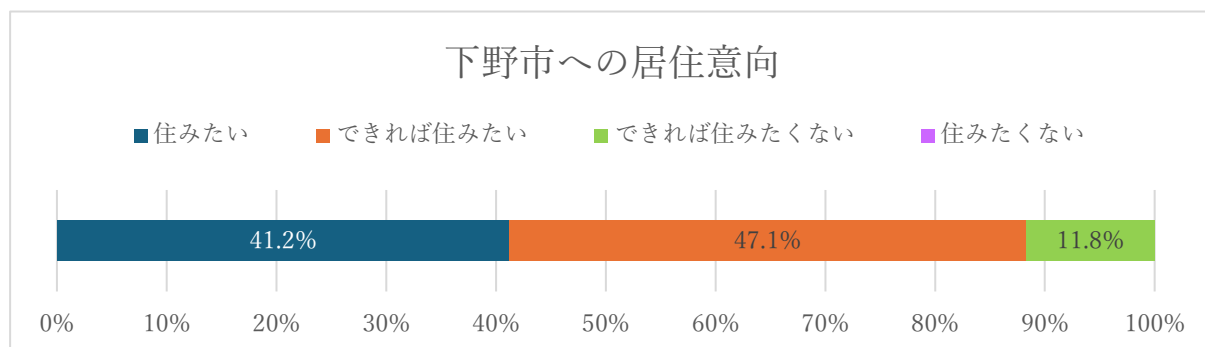


(3) 将来の居留意向

将来下野市に住みたいと思うかどうかについて、「住みたい (41.2%)」「できれば住みたい (47.1%)」合わせて 88.3%でした。

住みたいと思う理由としては、「下野市は暮らしやすいから (53.3%)」、「下野市が好きだから (33.3%)」、などとなっていました。

住みたくない理由としては、「市外の方が買い物したい店や遊ぶ場所が多いから」、「市外の方が進学先や就職先の選択肢が多いから」がそれぞれ 1 件ずつでした。



(4) 下野市の将来像

10年後の下野市の将来像としてどれが良いか、複数回答で尋ねたところ、「通勤通学に便利なまち」が最も高く、ついで「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち」「子育てしやすいまち」が同率で続きました。

